

安定した経営をめざして 公営企業業務報告

3年度下半期(3年10月1日～4年3月31日)の水道・公共下水道・病院事業の業務報告をします。

水道・公共下水道事業

水道事業

3年度下半期の収入は、14億5,528万円(前年度同期比1億5,523万円増)で、支出は17億3,685万円(同3,197万円減)です。上半期分を加えた年間執行額は、収入23億5,854万円、支出21億8,092万円、収支差し引き額から投資的経費に係る消費税等6,011万円を差し引いた額1億1,751万円が当年度純利益です。

本年度も、上水道施設整備計画に基づき、配

水管や送水管の更新を行いました。

今後も、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、効率的な経営に努めます。

■水道事業予算執行の状況

区分	年間予算額	下半期実績	年間執行額	確定率
事業収入	24億797万8千円	14億5,528万2千円	23億5,854万2千円	97.9%
事業費用	23億5,568万9千円	17億3,685万3千円	21億8,091万5千円	92.6%
差引	5,228万9千円	▲2億8,157万1千円	1億7,762万7千円	-

公共下水道事業

3年度下半期の収入は、20億6,763万円(前年度同期比1,661万円減)で、支出は22億9,930万円(同427万円減)です。上半期分を加えた年間執行額は、収入28億3,949万円、支出26億7,373万円で、収支差し引き額から投資的経費に係る消費税等9,102万円を差し引いた額7,474万円が当年度純利益です。

本年度は、前年度に引き続き、雨水路の整備

や汚水管渠まよの更新を行うとともに、下水処理場施設の設備更新や耐震化を進めました。今後も厳しい財政状況が見込まれることから、効率的経営に努め、公共用水域の水質保全と浸水対策を行います。

■公共下水道事業予算執行の状況

区分	年間予算額	下半期実績	年間執行額	確定率
事業収入	29億732万1千円	20億6,763万3千円	28億3,949万円	97.7%
事業費用	28億1,488万6千円	22億9,930万2千円	26億7,372万5千円	95.0%
差引	9,243万5千円	▲2億3,166万9千円	1億6,576万5千円	-

問 上下水道部経営企画課 ☎754・6069

病院事業

3年度下半期の収入は81億4,921万円(前年度同期比8億1,043万円増)、支出は67億1,373万円(同3億3,606万円増)で、当期収支差引額は14億4,784万円の黒字でした。上半期は5億4,856万円の黒字であったため、年間では19億9,640万円の黒字となりますが、これに消費税の調整を加えるため、最終的には16億3,652万円の当年度純利益となりました。

3年度においてもコロナ禍の影響は大きく、一時的に診療機能を制限せざるを得ないこともありましたが、地域の基幹病院として求められる使命を果たすべく、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、通常診療においても、その機能を維持・充実させるよう努めました。

医療従事者に対する特殊勤務手当の支給や化学療法適応患者の増加に伴う抗がん剤購入の増加などによって費用は増加しましたが、外来患者数の回復、また診療単価の上昇などによって、

収入の根幹である入院収益および外来収益が増収となったほか、補助金なども活用し、最終的に2年連続で当年度純利益を計上できました。

公立病院として今後も安全で良質な医療を継続して提供するため、診療機能の強化による収益性の向上とともに費用のさらなる削減に努め、安定した財政基盤の確立をめざします。

■病院事業予算執行の状況

区分	年間予算額	下半期実績	年間執行額	確定率
事業収入	149億827万1千円	81億4,921万5千円	151億3,969万3千円	101.6%
事業費用	138億8,838万円	67億1,373万円	131億4,329万1千円	94.6%
差引	10億1,989万1千円	14億4,784万5千円	19億9,640万2千円	-

■入院・外来患者数

区分	健保	国保	後期高齢者	医療保護	労災	その他	合計
入院	9,592人	11,607人	27,350人	1,175人	114人	1,279人	51,117人
外来	36,036人	26,358人	38,625人	2,042人	377人	2,854人	106,292人

問 病院事務局経営企画課 ☎751・2881